整理番号：71-103
作成日　：2024/09/11

安全データシート

（表紙）

化学物質及び会社情報

製品名	ロックタイト（ねじのゆるみ止め用接着剤）
製品番号	YCD-243
会社名	京都機械工具株式会社
住所	京都府久世郡久御山町佐山新開地１２８番地
電話番号	0774-46-3700
ＦＡＸ番号	0774-46-3008

その他の情報

・詳細は別紙の SDS を参照のこと。
・本記載内容は、現時点で入手できる情報に基づいて作成しておりますが、最新情報により改訂される場合があります。また、情報の正確性や完全性、製品の安全を保証するものではありません。

安全データシート

LOCTITE 243 MEDIUM STRENGTH THREADLOCKER known as 243 Thrdlock 250ML EN/CH/JP A/P

SDS No. : 316211
V001.10
改訂: 12. 06. 2023
発行日: 23. 11. 2023

ヘンケルジャパン株式会社

１． 化学物質等及び会社情報

製品コード： 1311322
製品名: LOCTITE 243 MEDIUM STRENGTH THREADLOCKER known as 243 Thrdlock 250ML EN/CH/JP A/P

推奨される用途 ： ねじロック剤

会社名：
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号： +81 (45) 758-1800

２． 危険有害性の要約

GHS分類 ：

危険有害性クラス	危険有害性区分	標的臓器
皮膚刺激性	区分 2	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2	
皮膚感作性	区分 1	
特定標的臓器毒性 － 単回暴露	区分 3	気道刺激性
水生環境有害性 短期（急性）	区分 2	
水生環境有害性 長期（慢性）	区分 3	

GHSラベル要素:

絵表示:

注意喚起語: 警告

危険有害性情報: H315 皮膚刺激。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H319 強い眼刺激。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H401 水生生物に毒性。
H412 長期継続的影響により水生生物に有害。

安全対策 P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P264 取扱い後はよく手を洗うこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。

応急措置: P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
P304+P340+P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分がわるいときは医師に連絡すること。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。

保管: P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405 施錠して保管すること。

廃棄: P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物／容器を廃棄すること。

その他の危険有害性: 適切に使用した場合特になし。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

３．組成、成分情報

単一製品･混合物： 混合物
化学特性： 嫌気性接着剤

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	>= 25 -< 30 %
シアヌル酸トリアリル	>= 2.5 -< 10 %
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	>= 2.5 -< 10 %
合成非晶質シリカ	>= 1 -< 10 %
ポリエチレン	>= 1 -< 10 %
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	>= 1 -< 2.5 %
マレイン酸	>= 0.25 -< 1 %
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	>= 0.1 -< 1 %
1,4-ナフトキノン	>= 0.0025 -< 0.025 %

４．応急処置

皮膚にかかった場合： 流水とせっけんでよく洗い流すこと。
医師の診察を受けること。

眼に入った場合： 直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。必要な場合は医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。水を1-2杯飲ませること。無理に吐かせないこと。
医師の診察を受けること。

吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診察を受けること。

５．火災時の措置

消火方法： 火災が発生した場合、泡沫消火剤か粉末消化剤を使用すること。

適切な消火剤: 二酸化炭素、泡、粉末

火災時の特有の危険有害性: 炭素酸化物、窒素酸化物、刺激性有機蒸気。

消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置: 自給式呼吸器および出動服の様な全身保護服を着用すること。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 皮膚および眼への接触を避けること。

環境に対する注意事項 下水管に流さないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 少量の場合紙タオル等で拭き取り、廃棄用容器にて保管すること。

大量の漏洩に対しては、不活性な材質のものに吸収させ廃棄するまで、密閉できる容器に保管する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項

感作の危険を防ぐため長時間若しくは、繰り返しの接触は避けること。

よく換気された場所で使用すること。

皮膚および眼への接触を避けること。

取扱い後は十分に洗うこと。

保管:

安全な保管条件:

しっかりした換気／排気を確保すること。
原容器に入れたまま、8-21°Ｃで保管する。異物混入のおそれがあるため使用した液は元の容器へ戻さないこと。

８．暴露防止及び保護措置

管理濃度

日本産業衛生学会

成分【規制物質】	ppm	mg/m³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
合成非晶質シリカ [土石,岩石,鉱物,金属又は炭素の粉じん]		0.025	管理濃度:	ばく露限界値は 100%遊離シリカの値を用いて方程式 3.0/(1.19* (%遊離シリカ) + 1) により算出されている。遊離シリカのパーセンテージが低いほどばく露限界値は高くなる。	JPISHL OEL
合成非晶質シリカ [結晶質シリカ含有率 3%未満の鉱物性粉塵,総粉塵]		4	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL
合成非晶質シリカ [結晶質シリカ含有率 3%未満の鉱物性粉塵,吸入性粉塵]		1	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL
ポリエチレン [その他の無機および有機粉塵,総粉塵]		8	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL
ポリエチレン [その他の無機および有機粉塵,吸入性粉塵]		2	時間荷重平均(TWA):		JPJSOH OEL

管理濃度

参考

成分【規制物質】	ppm	mg/m³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
合成非晶質シリカ		3	時間加重平均（TWA）：		ACGIH
合成非晶質シリカ		10	時間加重平均（TWA）：		ACGIH
ポリエチレン		10	時間加重平均（TWA）：		ACGIH
ポリエチレン		3	時間加重平均（TWA）：		ACGIH

設備対策: 一般的な換気が空気汚染をコントロールするのには十分でない場合、局所排気装置を設置すること。

保護具：

呼吸用保護具: 換気の良い場所でのみ使用すること。

手の保護具： 適切な保護手袋

眼の保護具: 保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具: 適切な保護服を着用すること。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態：	液体	色：	青
		臭い:	特異臭
pH：	該当なし，混合物は非極性/非プロトン性です。	融点：	該当なし，製品は液体
沸点：	＞150 ° C (＞302 ° F)	密度：	1.09 g/cm3
蒸気密度：	＞1	蒸気圧:	データ無し/対象外
引火点:	＞100 ° C (＞212 ° F)		
爆発範囲（下限）：	データ無し/対象外	爆発範囲（上限）：	データ無し/対象外
水への溶解度	データ無し/対象外	粘度：	＞20.5 mm2/s
自然発火点:	データ無し/対象外	可燃性:	データ無し/対象外
オクタノール/水分配係数	データ無し/対象外	分解温度:	データ無し/対象外
粒子特性	データ無し/対象外		

１０．安定性及び反応性

安定性：

反応性: 強酸化剤
還元剤
強アルカリ
脱酸素剤
その他の重合開始剤
重金属

化学的安定性: 推奨保存状態下では安定している。
避けるべき条件 仕様書に従った使用であれば分解しない。

危険有害な分解生成物： 炭素酸化物

危険な重合反応： 起こらない。

１１．有害性情報

一般毒性情報: 動物実験検査データなし。

11.1. 毒物学的影響情報

急性毒性（経口）：

消化管の炎症をもたらす恐れがある。

有害物質	値型	値	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	LD50	10,066 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
シアヌル酸トリアリル	LD50	753 mg/kg	ラット	OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	LD50	> 5,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
合成非晶質シリカ	LD50	> 5,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
ポリエチレン	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5,000 mg/kg		専門家の判断
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5,000 mg/kg		専門家の判断
マレイン酸	LD 50	2,400 mg/kg	マウス	
マレイン酸	LD 50	708 mg/kg	ラット	
マレイン酸	LD50	708 mg/kg	ラット	指定されていません
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	LD 50	270 mg/kg	マウス	
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	LD50	270 mg/kg	ラット	指定されていません
1,4-ナフトキノン	LD 50	190 mg/kg	ラット	
1,4-ナフトキノン	LD50	124 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)

急性毒性（経皮）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	LD50	> 3,000 mg/kg	ウサギ	指定されていません
シアヌル酸トリアリル	LD50	> 2,000 mg/kg	ウサギ	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	LD50	> 2,000 mg/kg	ラット	指定されていません
合成非晶質シリカ	LD50	> 2,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
ポリエチレン	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5,000 mg/kg		専門家の判断
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5,000 mg/kg		専門家の判断
マレイン酸	LD 50	1,560 mg/kg	ウサギ	
マレイン酸	LD50	1,560 mg/kg	ウサギ	指定されていません

急性毒性（吸入）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	試験環境	ばく露時間	種	試験方法
シアヌル酸トリアリル	LC 50	> 0.333 mg/l	蒸気	1 h	ラット	
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	LC 50	> 0.41 mg/l	蒸気	7 h	ラット	
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	LC 50	> 0.55 mg/l	ガス	6 h	ラット	
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	LC 0	0.41 mg/l	蒸気	7 h	ラット	
ポリエチレン	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5 mg/l	粉じん及びミスト	4 h		専門家の判断
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5 mg/l	粉じん及びミスト			専門家の判断
マレイン酸	LC 50	> 0.72 mg/l	吸入	1 h	ラット	
1,4-ナフトキノン	LC50	0.046 mg/l	粉じん及びミスト	4 h	ラット	OECD Guideline 403 (Acute Inhalation Toxicity)

皮膚腐食性／刺激性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	刺激性なし	24 h	ウサギ	FDA Guideline
合成非晶質シリカ	刺激性なし	4 h	ウサギ	指定されていません
マレイン酸	刺激性	24 h	human	Patch Test
1,4-ナフトキノン	Category 1C (corrosive)		ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性:

眼に弱い刺激をもたらす可能性がある。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	刺激性なし		ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	Category 2 (irritant)		ウサギ	EU Method B.5 (Acute Toxicity: Eye Irritation / Corrosion)
合成非晶質シリカ	刺激性なし		ウサギ	指定されていません
ポリエチレン	刺激性なし	24 h	ウサギ	FDA Guideline
マレイン酸	highly irritating		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)

呼吸器又は皮膚感作性:

皮膚への付着により感作される恐れがある。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
合成非晶質シリカ	not sensitising	Patch-Test	human	ヒト反復傷害パッチテスト
ポリエチレン	not sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
マレイン酸	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
マレイン酸	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	モルモット	OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)
1,4-ナフトキノン	sensitising	指定されていません	モルモット	指定されていません

生殖細胞変異原性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目／管理経路	代謝活性化／ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	陽性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
合成非晶質シリカ	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		Ames試験
合成非晶質シリカ	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		Chromosome Aberration Test
ポリエチレン	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		Ames試験
マレイン酸	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	no data		Ames試験
マレイン酸	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)

発がん性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

成分	結果	ばく露経路	ばく露時間 / 処置頻度	種	性別	試験方法
マレイン酸	not carcinogenic	oral: feed	2 y daily	ラット	male/female	OECD Guideline 451 (Carcinogenicity Studies)

生殖毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	テストタイプ	ばく露経路	種	試験方法
合成非晶質シリカ	NOAEL P 500 mg/kg NOAEL F1 500 mg/kg	1世代試験	oral: feed	ラット	指定されていません
マレイン酸	NOAEL F1 150 mg/kg NOAEL F2 55 mg/kg	2世代試験	oral: gavage	ラット	OECD Guideline 416 (Two-Generation Reproduction Toxicity Study)

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	ばく露経路	ばく露時間／処理頻度	種	試験方法
合成非晶質シリカ	NOAEL 500 mg/kg	oral: feed	5-8 w daily	ラット	指定されていません
マレイン酸	NOAEL >= 40 mg/kg	oral: feed	90 d daily	ラット	OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)

誤えん有害性：

データなし

１２．環境影響情報

一般環境有害性情報:
下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。
水生生物に有害である。
水生環境に長期の可逆効果をもたらす恐れがある。

12.1. 生態毒性

毒性（魚）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	LC50	32.5 mg/l	48 h		DIN 38412-15
シアヌル酸トリアリル	LC50	4.36 mg/l	96 h	Oncorhynchus mykiss	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	LC50	1.2 mg/l	96 h	Cyprinus carpio	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
合成非晶質シリカ	LC50	> 10,000 mg/l	96 h	Brachydanio rerio (new name: Danio rerio)	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
ポリエチレン	LC50	> 100 mg/l	96 h	Leuciscus idus	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	LC50	> 10 - 100 mg/l	96 h	指定されていません	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
マレイン酸	LC50	> 245 mg/l	48 h	Leuciscus idus	DIN 38412-15
1,4-ナフトキノン	LC50	0.045 mg/l	96 h	Oryzias latipes	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)

毒性（ミジンコ）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
シアヌル酸トリアリル	EC50	19.4 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	EC50	> 10 - 100 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
合成非晶質シリカ	EC50	> 10,000 mg/l	24 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
マレイン酸	EC50	42.81 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
1,4-ナフトキノン	EC50	0.026 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	NOEC	5.09 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)
マレイン酸	NOEC	10 mg/l	21 d	Daphnia magna	other guideline:

毒性（藻類）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	EC50	9.79 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	NOEC	2.11 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	EC50	> 12 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	NOEC	< 0.35 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
マレイン酸	EC50	74.35 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
マレイン酸	EC10	11.8 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
1,4-ナフトキノン	NOEC	0.07 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
1,4-ナフトキノン	EC50	0.42 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)

微生物に対する毒性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	NOEC	20 mg/l	28 d	activated sludge, domestic	指定されていません
シアヌル酸トリアリル	EC0	5 mg/l	3 h		OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)
ポリエチレン	EC0	> 1,000 mg/l	3 h	指定されていません	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)
マレイン酸	EC10	44.6 mg/l	18 h	Pseudomonas putida	DIN 38412, part 8 (Pseudomonas Zellvermehrungshemm-Test)
1,4-ナフトキノン	EC50	5.94 mg/l	3 h	activated sludge of a predominantly domestic sewage	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)

12.2. 残留性と分解性

製品は非生分解性である。

有害物質	結果	テストタイプ	分解性	ばく露時間	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	readily biodegradable	aerobic	84 %	28 d	OECD Guideline 310 (Ready BiodegradabilityCO2 in Sealed Vessels (Headspace Test)
シアヌル酸トリアリル		aerobic	7 - 9 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート		aerobic	4 - 14 %	29 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
ポリエチレン	容易に生分解されていません。	aerobic	1 %	28 d	ISO 10708 (BODIS-Test)
ポリエチレングリコールモノメタクリレート	readily biodegradable		> 60 %	28 day	OECD 301 A - F
マレイン酸	readily biodegradable	aerobic	97.08 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
1,4-ナフトキノン	容易に生分解されていません。	aerobic	0 %	28 d	OECD Guideline 301 F (Ready Biodegradability: Manometric Respirometry Test)

12.3. 生態蓄積性

データなし。

物質の情報なし

12.4. 土壌中の移動性

有害物質	LogPow	温度	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	3.1		OECD Guideline 117 (Partition Coefficient (n-octanol / water), HPLC Method)
シアヌル酸トリアリル	2.8	20 ° C	指定されていません
ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート	4.14	30 ° C	OECD Guideline 117 (Partition Coefficient (n-octanol / water), HPLC Method)
マレイン酸	-1.3	20 ° C	OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	0.74		指定されていません
1,4-ナフトキノン	1.71		指定されていません

12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

12.6. 他の有害影響

データなし

１３．廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

汚染容器包装の廃棄方法:: 使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトル は化学汚染物質として公認された埋め地に処理するか焼却する。
廃棄処理は必ず法規制に従って行うこと。

１４．輸送上の注意

Marine transport IMDG:
危険物には該当しない。

Air transport IATA:
危険物には該当しない。

国内輸送規制:
陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。
海上輸送：船舶安全法に定められている運送法法に従う。
航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

１５．適用法令

労働安全衛生法： 該当しない

消防法 第4類引火性液体,第4類　第3石油類(非水溶性)

毒物及び劇物取締法： 該当しない

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)：(含有率表示は代表値)
(含有率単位が%0 の場合 %0=1/10%) 該当しない

１６．その他の情報

発行日: 23.11.2023

注意::

この安全性データシートは日本産業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、 明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。
この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。
お客様各位、
ヘンケルは、バリューチェーン全体に沿ったさまざまな機会を促進することにより、持続可能な未来を築くことをお約束します。
SDSを紙から電子版に切り替えて受け取りたい場合は、最寄りのカスタマーサービスにお問い合わせください。
個人用ではない電子メールアドレス（例：SDS @ your_company.com）を使用することをお勧めします。